

ベンチャービジネス支援シンポ

千本氏 大学は人材育成を

研究開発資金を供給するな
ど移住を奨励している。欧
州諸国とファンドも設立し
ている。日本も投資家と一
緒にファンドを作り、リス
クを取ってはどうか。

西岡氏 大学はベンチャ
ーの人材育成にどう関与す
べきか。

千本氏 大学は事業のア
イデアを出すだけでなく、
人材も育成すべきだ。慶応
大大学院からは五年間で何
は、大企業の終身雇用政策

ゲルツバーク氏 当社に
は百七十人の従業員がいる
が、これに加えスタンフォ
ード大から三十人が支援に
来ている。シリコンバレー
では産学連携がうまく機能
している。

ポーク氏 日本では何が
産学連携の阻害要因になっ
ているのだろうか。

村口氏 戦後の日本で

にわたってリスクを管理してきた。集団でリスクを取る

だ。
ササキ氏 シリコンバレーにあって日本にないのは二つ。一つは会社を経営できる人材。二つ目はリスクを取る文化だ。この二つをはぐくむインフラが整備されていらない。さらに、そのリスクを取る人を支える文

るにも三、四社が実際に公開の相談に来ていた。

ゲルツバック氏 イスラエルでは起業家は英雄だが、百人もの経営学修士が出てくるのが、起業家は一人しか出していない。シリコンバレーには、個人が組織の外に飛び出す時に自分でリスク管理ができるかだ。

鈴木氏 税金も問題。リスクを取るには継続材が必要で、税金を減らし力ネが要で、税制の制度を作り、独り立ちを支援すべきだ。

シティバンク勤務を経て、映画制作会社などの社長を歴任。会員制で個人投資家と創業期のハイテク企業を結びつけるのが主な業務。

ゲルツバーグ氏 企業が分社化や社内起業制度でベンチャーを活性化する手もある。実は米国の最大のベンチャーキャピタル(VCC)はインテル社。事業領域を自社が関連する分野に絞り込み、戦略的に投資している。

先取り不可欠

し直し見制度や

急げ連携的な

ベンチャー
支援モデル

欠不可取先技術氏ポグ

起業者精神を生かすには、何よりも、成功した社内ベンチャーは、「二社くらいはあろう」と、自分一人でアクションを取ることには慣れていない人たちに、突然一人でリスクを取って歩けというのは無理だ。大企業に過度の期待をすべきではない。

ササキ氏 私も三つのマビオンを手掛けたが、一つは失敗した。日本ではマビオンしても親会社の意向が動く。完全に独立することが重要だ。日本では雇用雇用の破たん、会社を出ざるを得ない人もいる。将来は会社を離れることが自然な動きになるだろう。

法律や制度見直し

村口氏

西岡氏 日本はシリコンバレーから何を学び、日本のベンチャー支援のモデルをどう築くのか。

鈴木氏 根本からリスクを取るには自分の裁量で全を使えるものにする必要がある。キャピタルゲインに見られる人間の本能に訴える手法は取り入れても良いと思う。

村口氏 日本でも始まっているベンチャービジネスへの要を育てるべきだ。会社設立を支援していると、細かい点で法律や制度に不具合を感じて、シリコンバレーの経験から学ぶ不具合を解消したい。

千本氏 国に頼って日本

ゲルツ氏 国際的な連携急げ

91年カリフォルニア大
バークレイ校ロースク
ール卒。ウィットマン&ラ
ンサム法律事務所などを
経て現職。M&Aや証券
発行などを担当。

敗北は起るではない。何度持ち資金幾と三式を發行してゐる。日本の最

ては創業時に法律事務
三万円。一株
連携が欠かれない。当
額は米國では
が他の法律事務所と異
ですむが
は、單なる法律顧問で
五万円以上に
ない規制があ

技術も進化していく。インターネットがシリコンバレーの変化を呼んだが、日本でも技術を先取りすることが必要だ。

ササキ氏 リスクを分け合うシリコンバレーの考え方は日本も導入すべきだ。日本は不況で大企業への信頼も薄れつつあり、リスク

株式によるリスク分担築け

弁護士・投資家に株付与

な(み)で、相手の考え方を理
解しあっている。

素直らしいアイディアがあっ
ても資金がなければ、事業を
始める。作家の「失敗」は周
圍が支援する。「リスク」

うきうつら

ラッシュェ
アの照

弁護

主・投資家に株付与

代わりに発
行済み株式
の二六
株を額面通り六
倍に引き上げる。その後
材料確保のために
友人 エンジ
ンがある個人投資
者。仰いだりする。
株主による資金調達が授け
てある。その後
年で米店頭株式市場（ナスダ
ック）に公開するか、会社を
売却して創業者利益を得る。
シリコンバレーモデルは企
業の内部者に普通株、外部者
に優先株をそれぞれ与え、創
業の関係者が複数でリスク
を分担して株式公開を目指す
のが特徴だ。融資とはなく、
株主による資金調達が授け

ベンチャー・ビジネス
支援シンポ特集